

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 市 長	平成25年7月25日
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市下京区四条通柳馬場東入立売東町7番地	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 京都信用金庫 理事長 増田 壽幸

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	KES・環境マネジメントシステムスタンダードステップ2SR
適用範囲	全店舗
導入年月日	平成23年 10月 1日
認証番号	KES2SR-0002
基本方針	コミュニティ・バンク京都信用金庫は「持続可能な発展への貢献を最大化」することが最重要課題の一つであることを認識し、「かけがえない地球環境」と調和した地域社会の繁栄を追求します。役職員一人ひとりが「健全で恵み豊かな環境」を守り続けるために考え、行動します。そして地域の皆様との絆を育み、協同してエココミュニティの発展に全力で取り組んでまいります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①環境活動の実施 ②環境配慮型金融商品の開発及び販売 ③電力使用量の対前年比1%削減 ④ガソリン使用量の対前年比1%削減 ⑤事務用紙使用量の対前年比3%削減 ⑥業務用紙ごみの対前年比3%削減
目標を達成するための取組の内容	・クールビズ、ウォームビズに基づき、適正なエアコンの温度調整をする ・長時間離席時のパソコンシャットダウンの実施 ・不必要な照明の消灯をする ・不必要な印刷、コピーをなくし、両面印刷、2 in 1印刷を実施する ・車内の空気圧をまめにチェックし、不必要な荷物を搭載しない ・燃費効率、訪問効率を考えて走行する ・各店で独自で考えた環境活動を実施する ・ごみの適正な分別をする
目標を達成するための取組の進捗状況	上記目標を記載したカードを全役職員が携帯し、常に目標達成のための取組を意識することが出来ている。また、環境教育も随時実施し、各場所にポスター等で環境活動への取組に対して啓蒙することも出来ている。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	全役職員に環境活動に対する意識が浸透し、全6項目のうち事務用紙使用量削減は目標未達となったものの、その他の目標は達成することが出来た。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況については、その都度、確認している。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、年一回、当店のKES事務局を中心に検討している。24年度については事務用紙使用量の削減が目標未達となったが、他の項目は達成。25年度も目標を一部変更し、同一のシステムにより運用している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。